

『教育社会学研究』に投稿する論文は、次の規程に従うものとする。

1. 投稿者は、日本教育社会学会の会員であること。
2. 日本教育社会学会倫理規程に則り、論文を投稿すること。
3. 論文は未発表のもので、かつ内容がオリジナルなものであること。ただし、口頭発表及びその配布資料はこの限りでない。投稿論文と目的・方法・知見等の面で重複している論文、調査報告、ディスカッション・ペーパー等をすでに発表（予定を含む）している場合は、その PDF ファイルをすべて添付した上で投稿すること（第9項(4)(5)を参照）。
4. 「拙著」「拙稿」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、投稿者名や所属機関が判明、推測できるような表現は控える。ただし、これらの記載が必要な場合は、採択決定後に加筆することができる。
5. 論文原稿は日本語、横書きとし、ワープロで作成するものとする。作成にあたっては、学会ホームページ (<https://jses-web.jp/>) のテンプレートも参考に、次の点を厳守すること。
 - (1) 本文、図、表、注、引用文献を含めて A4 判 (37 字×32 行) で 18 頁以内とする。なお、論文題目は、これらとは別の要旨ファイルに記載すること（第9項(1)(2)を参照）。
 - (2) 全角文字の大きさは 10~11 ポイントとし、余白を「上 30 ミリ、下 40 ミリ、左右 30 ミリ」取ること。
 - (3) 書式は『教育社会学研究』に従って、1 頁目以降「37 字×32 行」として執筆し、ページ番号をつける。ただし要旨は頁数にカウントしない。
 - (4) 本文には、適宜、見出しおよび小見出しをつける。見出しの前後には 1 行のスペースを入れ、小見出しの場合には、前に 1 行のスペースを入れる。
 - (5) 「注」および「引用文献」の前にも 1 行のスペースを入れる。
 - (6) 「本文」「注」および「引用文献」は、全角文字を使用する。
 - (7) 欧文、および算用数字は、半角文字を使用する。
 - (8) 図、表は、本文中の適切な箇所に、自らレイアウトし作成すること（「画像としての貼り付けも可」）。なお、図表のある頁も、(2)における余白指定に従うこと。
 - (9) 規程枚数を超過した論文は受理しない。
6. 注（引用文献は除く）は文中の該当箇所に、(1), (2), ……と表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。
7. 引用文献の提示方法は、原則として次の形式に従うこと。
 - (1) 本文中では、次のように表示する。

「しかし、有田（1990, p.25）も強調しているように……」
「……という調査結果もある（Chiba 1989, Honda 1990a）」
「デュルケームによれば『……ではない』（Durkheim 訳書 1981, pp.45-46）」
 - (2) 同一著者の同一年の文献については（Honda 1990a, 1990b）のように a, b, c, ……を付ける。
 - (3) 文献は、邦文、欧文を含めてアルファベット順とし、以下の例に従って注の後にまとめて記載する。翻訳書・翻訳論文については、原典の書誌情報を記載する。

有田祐子, 1990, 『教育社会学』西洋館出版。

Chiba, Masao, 1989, *Sociology of Education in Japan*, US Press.

Durkheim, Emile, 1938, *L'évolution pédagogique en France*, Librairie Félix Alcan, 2 vols. (=1981, 小関藤一郎訳『フランス教育思想史』行路社).

Honda, Naoki, 1990a, *Sociology of Education*, Tokyo Press.

————— 1990b, *Sociology of school*, Japan Press.

井上敏子, 1990, 「教育社会学の展望」『教育社会学研究』第 50 集, pp.10-25.

Maeda, Taichi, 1990, "Schooling in Japan," *American journal of sociology*, Vol.62, No.3, pp.5-18.

Tachibana, Kaoru, 1990, "Recent Trends in the Sociological Studies of Education," T. Yamada ed., *Sociology of Education*, UK Press, pp.17-28.

東洋一郎, 1990, 「教育社会学の反省」山田太郎編『教育社会学講座 1 教育社会学の方法』南洋館出版, pp.10-25.

8. 締切日時は 5 月 10 日および 11 月 10 日とする (日本時間 23:59 まで有効)。
9. 論文は、学会ホームページの「オンライン投稿システム」からログインし、指示に従って投稿する。投稿に必要な提出物は以下の通りとする (要旨は日本語と英語の両方が、『教育社会学研究』に掲載される)。なお、提出物に不備のある場合は受理しない。
 - (1) 要旨： 日本語の論文題目・要旨 600 字以内・キーワード 3 語, および英語の論文題目・要旨 500 語程度・キーワード 3 語を, それぞれ記載する。
 - (2) 論文原稿： ページ番号をつける。ただし(1)の要旨は頁数にカウントしない。
 - (3) 連絡先： 日本語と英語の両方で, 名前・所属機関名・連絡先 (郵便番号, 電子メールアドレスを含む) を記載する。
 - (4) 投稿論文と目的・方法・知見等の面で重複している論文, 調査報告, ディスカッション・ペーパー等をすでに発表 (予定) している場合は, その PDF ファイル (第 3 項を参照)。
 - (5) 上記(4)に相当する論文等がある場合には, 投稿論文におけるそれらとの共通点・相違点について説明した書面の PDF ファイル (A4 判 1 枚)。
10. 原稿は返却しない。
11. 本誌に掲載された論文等の著作権については, 本学会に帰属する。また, 著作者自身が, 自己の著作物を利用する場合には, 本学会の許諾を必要としない。採択された論文等は科学技術振興機構 J-STAGE に公開される。
12. 問い合わせ先：〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-16-7
東洋館出版社内 日本教育社会学会編集委員会
Tel : 03-3823-9207 E-mail: kyosha@toyokan.co.jp

* 本誌の英文要旨は Sociological Abstracts 等に収録され, 英文要旨の著作権は同誌が保有する。ただし, 収録の際に同誌で英語表現の修正や短縮などを行う場合がある。

* 2024 年 6 月 28 日の改訂では, 「規定」の文言を「規程」に改めた。